

特集「座談会：レ・コード館と文化活動」

～レ・コード館に関わる人たちとの座談会②（町内編）～

7月から4回にわたり、レ・コード館開館20周年特集記事を掲載してきました。今月は、レ・コード館と関わりの深い6つの団体の関係者にお集まりいただき、約2時間にわたり意見交換を行いました。

「レ・コードと音楽のまち・新冠」で魅力ある文化活動を続けている方々から、日頃の活動の様子や新冠のまちの魅力などについて、お話しを伺いましたので、その内容についてご紹介いたします。

司会 本日は、日頃からレ・コード館を利用されている方々にお集まりいただき、レ・コード館開館20周年特集記事の締めくくりとなる座談会を開催いたします。団体の活動やレ・コード館への思いなどをお聞かせください。

自己紹介

高瀬 新冠町文化協会事務局長の高瀬です。文化協会は、今年で創設48年目を迎えます。毎年10月には町民文化祭を開いており、今年も芸能発表会と総合作品展を無事に終えることができました。私は6年前から事務局に入り、加盟する40団体の助成金手続きや、道民芸術祭などの事業の手伝いをしています。個人的にはネイチャーズクラブに加盟し、他にも、新冠町青年団体協議会や新冠町青年団体連絡会議などでも活動しています。

中川 市民劇団ど・こ〜れ新冠で代表をしている中川です。劇団は、レ・コード館の柿落としての「飛翔にいかづぶ」に関わった人たちが、継続して活動を続けたいという思いで立ち上げた団体で、今年で結成20年目となります。



新冠町文化協会
事務局長 高瀬良寛



NPO法人レ・コード館
自主企画委員会
会長 後藤正義

毎年12月に定期公演を行っており、現在は、12月9日の公演に向け準備や練習を続けているところです。

上居 合唱団V.O.I代表の上居です。合唱団V.O.Iも、柿落としての「飛翔にいかづぶ」で合唱したメンバーが中心となり結成された合唱サークルです。ここ数年は、11月にレ・コード館でロビーコンサートを開いていますが、今年は日高管内合唱祭と日程が重なり開催できなくなりました。来年は活動20周年の節目としてコンサートを開きたいと考えています。

武田 読み聞かせの会「びっくり箱」で代表をしている武田です。びっくり箱は、昭和56年に大先輩たちが児童館に来る子どもたちに読み聞かせをしたのが活動の始まりです。

私は、最初は子ども連れ読み聞かせ会に参加していましたが、その後、会員になり、今年で18年目を迎えます。活動は、町内外の保育所での読み聞かせや、図書プラザの月2回の読み聞かせと、12月に開く冬のお話し会です。

後藤 NPO法人レ・コード館自主企画委員会会長の後藤です。自主企画委員

レ・コード館ができて町は変わった？
中川 このレ・コード館が建てられて、その後、レ・コードパークやレ・コード温泉が整備され、まち全体で「レ・コードと音楽の町」というイメージが作り出されたことは、新冠町にとっても大きかったと思います。

レ・コード館ができる以前は、多くの町民が「レ・コードを集めても、食べてはいけない」と考えていましたので、当時の岡町長も建設に至るまでは大変だったと思います。

しかしながら、今となっては、レ・コード館という町のシンボルができ、新冠町が良い意味で変わったのではないかと思います。

また、以前は、町民センターが文化活動の拠点でしたので、そこで文化祭なども開かれていましたが、今ほど活動が活発ではありませんでした。

レ・コード館という活動拠点ができたことで、団体やサークルが元気になったのだと思います。

司会 町民ホールができて、コンサートの数も増えましたよね？

後藤 レ・コード館開館10周年記念誌を見ると、自主企画委員会が主催した事業だけでも、1998年の加藤登紀子を皮切りに、ハウンド・ドック、小椋佳、アメリカ空軍太平洋音楽隊、泉谷しげる、キム・ヨンジャ、研ナオコ、さだまさし、パバイヤ鈴木南こうせつなど、著名な方がたくさん来町しています。



合唱団V.O.I
代表 上居成美

川原 私の仕事柄、他の地域の先生たちとよく話しをしますが、皆、この環境の良さを羨ましがります。

中川 2002年には、グレンミラー楽団と航空自衛隊中央音楽隊のコンサートもあったんですね。桂歌丸さんの落語という記載もありますね。

中川 和泉元彌の狂言もありましたね。

武田 お笑いのイベントで、当時、大人気だった桜塚やつくくんが来た時は、会場は満席のお客さんでしたよね。

中川 レ・コード館開館10周年の時には、実行委員会を組織して、劇団四季や航空自衛隊中央音楽隊のコンサートなども行いました。

レ・コード館ができる前は、町民センターや静内文化センターなどでコンサートが開かれていましたが、内容も回数も多くはありませんでした。この施設ができたことで、色々な行事が開かれるようになりました。

後藤 新冠は本当に恵まれています。この様な施設を運営していくことは財政的には大変だとは思いますが、この様に色々な事業を行っている施設は全道的にも少ないと思います。

川原 私の仕事柄、他の地域の先生たちとよく話しをしますが、皆、この環境の良さを羨ましがります。



新冠中学校吹奏楽部
顧問 川原千穂

吹奏楽部で、ホールを自由に借りられるだけではなく、スタッフの人や教育委員会、地域の人たちのバックアップなど手厚いサポートがあることも驚きました。

中川 劇団でも、先生たちが札幌や東京から来ることがありますが、定期公演で発表する会場を使いながら日常的に練習ができる環境は、他にはまじりないという話しをしています。

高瀬 レ・コード館に図書プラザができ、読書環境も大きく変わりました。以前は、今、町民センターの事務所がある部分が図書コーナーでしたが、小学校や中学校の図書室より小さく、図書館というよりも本が少し置いてある部屋という印象でした。

上居 私も以前は、静内文化センターの図書館に行っていましたので、読書環境は大きく変わったと思います。

高瀬 高校時代は、テスト勉強をするのに、図書プラザをよく利用させてもらっていました。

川原 今年の学校祭で壁新聞を作っているときに、子どもたちに「レ・コード館はどのような場所？」という質問をしてみると、子どもたちからは、「憩いの場所」とか「ホッとするところ」というワードプレイスのような、心地よい居場所であるという答えが返ってきました。



読み聞かせの会
「びっくり箱」
代表 武田明美

また、以前、学校では静かな生徒が、劇団で生き生きと活動している様子を見たことがあり、レ・コード館での活動が色々な面で子どもたちを支えてくれていると感じました。

今ここにいる子どもたちは、この環境の素晴らしさを、すぐには理解できないと思いますが、進学や就職などでまちを離れた時に、このまちの魅力に気づき、自分のふるさととは、こんなにも素敵なまちで、素晴らしき場所だったと思いつく時があれば嬉しいですね。



市民劇団ど・こ〜れ新冠
代表 中川光雄

会は、地域住民と行政が一体となり施設を運営しているようにと、レ・コード館の開館に合わせて設立され、会員10名程度で活動を始めました。

当初は、ホール事業と社会教育事業の両方に携わっていましたが、近年は町民ホールで行われるイベントの企画運営が主となり、出演者の選定から当日の運営、撤収まで一連の役割を担い、開館から20年間で約150本のイベントを開いてきました。

昨年度は、ジャズや演歌など8つのコンサートを開き、1500名を超える方々に来場していただきました。

川原 新冠中学校吹奏楽部の顧問をしている川原です。新冠に赴任して5年目となりました。

吹奏楽部では、夏の吹奏楽コンクール前の練習や10月の定期演奏会でレ・コード館を利用してもらっているほか、昭和音楽大学との連携事業である吹奏楽クリニックやパートナーシップコンサートに参加させていただいています。また、中学校としては、学校祭の合唱コンクールの会場として、町民ホールを利用させていただいています。